



はじめの一步

教室ブログ更新中(<http://onestep-mtj.com/>)

vol.78

小学生あるある～ノートはきれいかな？～

小学生の授業では字を丁寧に書くよう伝えていますが、国語の漢字はもちろんですが、算数の数字も同じくです。たくさんの小学生をみていると…計算ミスの原因として自分の書いた数字を読み間違えることが多いと感じます。よくあるのが下の2パターン…。

- と 6 ←この数字を見間違えるのは分かるかもしれませんが。
- 5 と 9 ←実はこれも雑に書くと間違いの原因にあがることがあるんです。

“答えを速く出せることがすごい！”と評価されることが多いのかもしれませんが、“ミスなく正確に解けることのほうが重要”です。そういう意味で、普段の授業時に無意識に書いている数字をキレイに書き直すよう伝えていきます。また、授業の始めに日付を書くこと、ページ数・問題番号を書くことも徹底させています。当たり前のことですが、実はできていない中学生もいます。見返したときにどの問題の答えだか分からない…、宿題をどこにやったか分からない…、そのようなノートをとらせないように指導しています。もう一つ大切なこと。それは間違いを消さないこと！どうしても×をつけることに抵抗がある子がいます。間違いだと分かると、消しゴムで消して鉛筆で書き直して、赤で○をつける…。でも、それだとノートを振り返ったときに目に留まりません。記憶に残りません。間違いは恥づかしいことではないと伝え、教室でしっかり間違いに向き合い、自信を持って学校の授業に参加できるようにしています。



小学生あるある～途中式は残しているかな？～

小学4年生の算数で四則混合のルールを勉強します。【たし算・ひき算より先にかけ算・わり算を計算する】、【()があったら先に解く】といったものです。途中式を書かなくてもできてしまう子はいるのですが、正しい書き方を教えて必ず書くようにさせています。

「答えがあつていればいいじゃん！」と言う子がよくいます。しかし、答えが間違っていたときにどこで間違えたかをもう一度解かなければなりません。途中式を残していれば「この部分で九九を間違えたんだね。」とか、「ひき算でやるところを足しちゃったんだね。」と指摘することができます。そうするとうろ覚えの九九が判明したり、符号の見落としの癖に気付いたりと次の手を打つことができるのです。ノートの隅にぐちゃぐちゃと計算して答えだけ転記する子もいますが、それでは意味がないのです。式を省いて時間短縮を図ったのかもしれませんが、結果的に始めから書き直して余計な時間がかかることもあるんです。また、中学生になると“部分点”という採点方式も出てきて、先生によっては少し加点してくれる可能性もあります。小学生のうちから途中式を正しく書き残す習慣をつけることがとても大切なんです！！

ごあいさつ

こんにちは！ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。

未来を作る子どもたちが、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。心を寄せて子どもの成長を導いていくことが私たちの務めだと思っています。

教室を開校して12年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんの出会いに感謝し、お礼の気持ちをこの地域に還元したいと、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことこそ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。